



## 2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月2日

上場会社名 YKT株式会社

上場取引所 東

コード番号 2693 URL <http://www.ykt.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井元 英裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 山本 庸一

TEL 03-3467-1251

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	6,106	4.6	313	70.8	335	66.0	230	
2018年12月期第2四半期	5,836	42.6	183	89.4	202	96.5	13	

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 226百万円 ( %) 2018年12月期第2四半期 62百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	19.37	
2018年12月期第2四半期	1.16	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	10,714	5,995	55.7	501.95
2018年12月期	9,782	5,828	59.5	489.44

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 5,970百万円 2018年12月期 5,821百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		5.00	5.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	9.6	470	4.5	490	3.7	300	56.2	25.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	11,906,880 株	2018年12月期	11,906,880 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	12,390 株	2018年12月期	12,370 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	11,894,495 株	2018年12月期2Q	11,894,648 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績はさまざまな要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項は[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

#### (日付の表示方法変更)

「2019年12月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速感が高まり、国内の輸出、生産にも弱さが見られました。国内景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、引き続き米中貿易摩擦問題による景気への悪影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である電機・機械・自動車等の製造業においては、中国市場では世界経済の減速により設備投資計画に停滞感がありましたが、国内では引き続き自動車関連を中心に設備投資が堅調に推移しました。このような環境のもと、当社グループの経営成績は、中国向け輸出販売は停滞したものの、主に車載関連の設備投資需要により電子部品実装機等の電子機器及び工具研削盤等の工作機械の国内販売が増加しました。その結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は、61億6百万円（前年同期比4.6%増）となりました。損益面では売上高が増加した結果、営業利益3億1千3百万円（前年同期比70.8%増）、経常利益3億3千5百万円（前年同期比66.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億3千万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1千3百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### （電子機器及び工作機械等）

電子部品実装機を中心とした電子機器は中国市場では設備投資計画に停滞感がありましたが、国内では車載関連の設備投資が増加したことにより販売が増加しました。工作機械も工具研削盤を中心に国内販売が増加した結果、当セグメントの売上高は57億3千9百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は2億9千2百万円（前年同期比68.1%増）となりました。

#### （光電子装置）

光電子装置の販売は研究用及び産業用レーザー、光通信部品の販売が増加し、当セグメントの売上高は3億7千4百万円（前年同期比69.9%増）、営業利益2千1百万円（前年同期比139.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億3千2百万円増加し、107億1千4百万円となりました。これは主として借入金の増加等により現金及び預金が4億8千8百万円増加したことと、一時的な在庫商品の増加により商品残高が4億6千6百万円増加したことなどによるものです。

#### （負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億6千5百万円増加し、47億1千9百万円となりました。これは主として、在庫商品の増加によりその支払債務である支払手形及び買掛金が5億7千1百万円増加したことと、1年内返済予定の長期借入金と長期借入金合計で3億4千万円増加したことなどによるものです。

#### （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億6千7百万円増加し、59億9千5百万円となりました。これは主として、剰余金の配当額5千9百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億3千万円となり、利益剰余金が1億7千万円増加したことなどによるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億8千8百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は30億3千9百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1億7千5百万円（前年同期比79.4%減）となりました。これは主として、売上債権の増加額が4億7百万円、たな卸資産の増加額4億7千万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益が3億5千万円となったことと、仕入債務の増加額が5億7千6百万円となったことなどによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は0百万円（前年同期は6千9百万円使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出3百万円がありましたが、敷金の償却費用等の3百万円があったことによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は3億2千6百万円（前年同期比43.5%増）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出2億5千9百万円がありましたが、長期借入れによる収入6億円があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明  
連結業績予想（通期）に関しましては、2019年2月15日付「平成30年12月期 決算短信」の発表から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,551,063	3,039,065
受取手形及び売掛金	1,206,797	1,609,816
商品	1,673,826	2,140,365
その他	733,006	419,557
貸倒引当金	△1,579	△2,385
流動資産合計	6,163,114	7,206,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	317,697	307,482
土地	1,657,243	1,657,243
その他(純額)	473,628	467,228
有形固定資産合計	2,448,569	2,431,954
無形固定資産		
その他	19,092	15,661
無形固定資産合計	19,092	15,661
投資その他の資産		
投資有価証券	260,832	248,610
投資不動産(純額)	652,383	647,662
その他	238,289	164,683
投資その他の資産合計	1,151,506	1,060,956
固定資産合計	3,619,167	3,508,573
資産合計	9,782,282	10,714,992

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,089,639	1,660,949
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	406,132	488,612
未払法人税等	99,322	40,838
役員賞与引当金	—	6,000
厚生年金基金解散損失引当金	18,000	—
固定資産解体費用引当金	144,900	—
その他	928,946	935,592
流動負債合計	2,686,940	3,181,993
固定負債		
長期借入金	993,486	1,251,730
退職給付に係る負債	252,472	268,950
その他	21,052	16,580
固定負債合計	1,267,011	1,537,261
負債合計	3,953,952	4,719,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,389,836	1,389,836
資本剰余金	1,997,995	1,997,995
利益剰余金	2,352,278	2,523,191
自己株式	△3,751	△3,758
株主資本合計	5,736,360	5,907,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,850	77,677
繰延ヘッジ損益	△14,052	△14,384
為替換算調整勘定	11,564	△140
その他の包括利益累計額合計	85,362	63,152
非支配株主持分	6,607	25,319
純資産合計	5,828,329	5,995,737
負債純資産合計	9,782,282	10,714,992

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,836,172	6,106,632
売上原価	4,676,071	4,788,233
売上総利益	1,160,100	1,318,399
販売費及び一般管理費	976,721	1,005,223
営業利益	183,378	313,176
営業外収益		
受取利息	488	1,718
受取配当金	4,107	4,202
仕入割引	14,605	19,744
不動産賃貸料	16,902	16,260
その他	6,559	2,280
営業外収益合計	42,662	44,205
営業外費用		
支払利息	7,118	6,904
不動産賃貸費用	7,644	7,799
為替差損	7,510	6,615
その他	1,431	210
営業外費用合計	23,704	21,530
経常利益	202,336	335,850
特別利益		
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	14,531
特別利益合計	—	14,531
特別損失		
固定資産解体費用引当金繰入額	140,000	—
減損損失	80,895	—
特別損失合計	220,895	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,558	350,382
法人税、住民税及び事業税	69,008	32,258
法人税等調整額	△72,101	69,382
法人税等合計	△3,093	101,640
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,465	248,741
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,706	18,356
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,759	230,385

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,465	248,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,396	△10,173
繰延ヘッジ損益	△17,155	△331
為替換算調整勘定	△11,172	△11,705
その他の包括利益合計	△46,723	△22,210
四半期包括利益	△62,189	226,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,129	207,818
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,060	18,712

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,558	350,382
減価償却費	19,392	23,115
減損損失	80,895	—
固定資産解体費用引当金の増減額(△は減少)	140,000	△144,900
受取利息及び受取配当金	△4,596	△5,920
支払利息	7,118	6,904
売上債権の増減額(△は増加)	36,485	△407,336
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,148,104	△470,566
仕入債務の増減額(△は減少)	1,345,772	576,027
その他	359,369	333,989
小計	817,774	261,695
利息及び配当金の受取額	4,596	5,691
利息の支払額	△7,241	△7,144
法人税等の支払額	△10,025	△86,371
法人税等の還付額	44,772	1,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	849,876	175,355
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△41,177	△3,260
無形固定資産の取得による支出	△306	—
その他	△28,263	3,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,747	444
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	50,000
長期借入れによる収入	600,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△307,942	△259,276
配当金の支払額	△59,822	△59,551
その他	△4,513	△4,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	227,721	326,693
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,020	△14,492
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	995,829	488,001
現金及び現金同等物の期首残高	2,415,367	2,551,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,411,196	3,039,065

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機器及び 工作機械等	光電子装置	計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	5,623,066	213,105	5,836,172	—	5,836,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,253	7,253	△7,253	—
計	5,623,066	220,358	5,843,425	△7,253	5,836,172
セグメント利益	173,875	8,830	182,705	672	183,378

(注) 1. セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去672千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機器及び 工作機械等	光電子装置	計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	5,739,663	366,968	6,106,632	—	6,106,632
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,525	7,525	△7,525	—
計	5,739,663	374,493	6,114,157	△7,525	6,106,632
セグメント利益	292,214	21,163	313,378	△202	313,176

(注) 1. セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去△202千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。